

理科の要点シリーズ・ものの燃え方 [問題]

氏名()

- (1) 物が燃えるための3条件
…()
- (2) ろうそくのほのおの一番外側を()という。
ろうが()しているので、最も()。
- (3) ろうそくのほのおの一番内側を()という。
ろうが()になっている。最も()。
- (4) (2)でも(3)でもない部分を()といい、最も()。
その理由は()。
- (5) ろうそくのほのおの中におのりばしを入れると()の部分が黒くなる。
- (6) ろうそくのほのおの中にガラス棒を入れると()の部分が黒くなる。
- (7) ろうそくのほのおの()にガラス管を差し入れると、()
いけむりが出る。このけむりに火を近づけると()。
- (8) 「燃える」というのは、はげしく()と結びつくこと。
- (9) ろうが燃えると()ができる。
- (10) アルコールが燃えると()ができる。
- (11) 水素が燃えると()ができる。
- (12) 一酸化炭素が燃えると()ができる。
- (13) プロパンが燃えると()ができる。
- (14) 木炭が燃えると()ができる。
- (15) さとうが燃えると()ができる。
- (16) でんぷんが燃えると()ができる。
- (17) 赤リンが燃えると()ができる。
- (18) いおうが燃えると()ができる。
- (19) マグネシウムが燃えると()という()い物
質になる。
- (20) 銅が燃えると()という()い物質になる。
- (21) 鉄は()を出して燃え、()という()い物
質になる。
- (22) ろうが燃えるときの状態の変化…()
- (23) アルコールが燃えるときの状態の変化…()
- (24) 木炭が燃えるときの状態の変化…()
- (25) 鉄の()さび…()・()が必要。内部までさびる。
- (26) 鉄の()さび…()・()が必要。内部を守る。
- (27) 銅の青緑色のさびを()という。有毒。
- (28) 木材に、()を与えないようにして熱することを()、
あるいは()という。次のようなものができる。
・固体…()。()色。()でできている。
・液体…()。()色のどろどろした液。
・液体…()。()色の()性の液。
・気体…()。()色。火を近づけると燃える。
この実験のときには試験管の先を少し下げ理由…出てきた()が
熱している部分に流れて()。

理科の要点シリーズ・燃え方 [解答]

- (1) 物が燃えるための3条件
…(燃える物・空気(酸素)・発火点以上の温度)
- (2) ろうそくのほのおの一番外側を(外えん)という。
ろうが(完全燃焼)しているので、最も(温度が高い)。
- (3) ろうそくのほのおの一番内側を(えん心)という。
ろうが(気体)になっている。最も(温度が低い)。
- (4) (2)でも(3)でもない部分を(内えん)といい、最も(明るい)。
その理由は(炭素が熱せられて光っているから)。
- (5) ろうそくのほのおの中におりばしを入れると(外えん)の部分が黒くなる。
- (6) ろうそくのほのおの中にガラス棒を入れると(内えん)の部分が黒くなる。
- (7) ろうそくのほのおの(えん心)にガラス管を差し入れると、(白)
いけむりが出る。このけむりに火を近づけると(燃える)。
- (8) 「燃える」というのは、はげしく(酸素)と結びつくこと。
- (9) ろうが燃えると(水と二酸化炭素)ができる。
- (10) アルコールが燃えると(水と二酸化炭素)ができる。
- (11) 水素が燃えると(水)ができる。
- (12) 一酸化炭素が燃えると(二酸化炭素)ができる。
- (13) プロパンが燃えると(水と二酸化炭素)ができる。
- (14) 木炭が燃えると(二酸化炭素)ができる。
- (15) さとうが燃えると(水と二酸化炭素)ができる。
- (16) でんぷんが燃えると(水と二酸化炭素)ができる。
- (17) 赤リンが燃えると(五酸化二リン)ができる。
- (18) いおうが燃えると(二酸化いおう)ができる。
- (19) マグネシウムが燃えると(酸化マグネシウム)という(白)い物質になる。
- (20) 銅が燃えると(酸化銅)という(黒)い物質になる。
- (21) 鉄は(火花)を出して燃え、(酸化鉄)という(黒)い物質になる。
- (22) ろうが燃えるときの状態の変化…(固体→液体→気体)
- (23) アルコールが燃えるときの状態の変化…(液体→気体)
- (24) 木炭が燃えるときの状態の変化…(固体のまま)
- (25) 鉄の(赤)さび…(酸素)・(水)が必要。内部までさびる。
- (26) 鉄の(黒)さび…(酸素)・(強熱)が必要。内部を守る。
- (27) 銅の青緑色のさびを(ろくしょう)という。有毒。
- (28) 木材に、(空気)を与えないようにして熱することを(むし焼き)、
あるいは(かん留)という。次のようなものができる。
- ・固体…(木炭)。(黒)色。(炭素)でできている。
 - ・液体…(木タール)。(茶)色のどろどろした液。
 - ・液体…(木さく液)。(黄)色の(酸)性の液。
 - ・気体…(木ガス)。(白)色。火を近づけると燃える。
- この実験のときには試験管の先を少し下げる理由…出てきた(液体)が熱している部分に流れて(試験管が割れるのを防ぐため)。